

ま ち の 話 題

豊 岡

港保育園・水族館見学

お魚いっぱい

楽しいよ！



▲見て見て、大きなワカメがとれたよ！

5月30日、市立港保育園の園児たち49人が、城崎マリンワールドに出かけました。

園児たちは水族館に入ると、小さい魚から大きな魚まで、たくさん海の生き物を見て「かわいい」「大きい」と大はしゃぎ。既に探検気分の子は、足取りも軽やかに奥へ奥へと進んでいきました。

続いて、イルカ・アシカショーでは、イルカの大きなジャンプやアシカのかわいらしい演技に園児たちは大喜びの様子でした。

また、磯辺コーナーでヒトデやウニ、ウミウシなどの海の生物を見た後、持ってきた弁当をみんな揃って食べて、楽しい1日になりました。

城 崎

第1回あやめ祭り

温泉街で楽しいひと時

城崎温泉街では、毎年5月下旬から6月下旬までを「あやめ月間」としています。期間中は、市民や観光客の皆さんに楽しんでいただくため、外湯の玄关口や温泉街のポケットパークなどにあやめが植栽され、城崎温泉の初夏の風物詩となっています。特に今年はこのイベントを盛り上げようと、6月4日、城崎温泉観光協会主催による第1回「あやめ祭り」が四所神社前の木屋町広場で開催されました。市内のバンドグループ「SOKO」の皆さんによるライブ演奏や焼き鳥などの露店が出店され、約1000人の聴衆はビールを片手に楽しいひと時を過ごしていました。



▲市民や観光客などが集まり楽しいひと時を過ごした「あやめ祭り」

竹 野

須の谷村の風まつり

村に吹く

やさしい風を感じて！



▲放牧された但馬牛を見学する訪問者

5月27日から29日までの3日間、竹野町須野谷で「須の谷村の風まつり」が開催されました。

竹野川の上流に位置し、15軒からなるのどかな農村を舞台にして、山野草の苔玉づくりや絵ハガキづくり、ニジマス釣り、但馬牛の放牧、野菜・山菜・工芸品の即売など、温もりあふれる多彩なイベントが行われました。

市内外から訪れた人たちは、同地区の自然やそこに暮らす人々のやさしい心にふれて、安らぎのひと時を過ごしていました。

実行委員長で区長の倉橋孝さんは「まつりで区民の心が一つになりました。大勢の方が来てくれて、私達も元気をもらいました」と笑顔で話していました。

まちの情報などがありましたら、秘書広報課広報係までご連絡ください。

日高

第5回豊岡オープンガーデンショー

丹精込めて育てられた花々に

心を癒されたひととき

5月25日から29日、第5回豊岡オープンガーデンショーが日高地域内で開催されました。オープンガーデンショーは、約70年前に英国でチャリティに役立てることを目的に始まったものですが、現在では、景観保持や地域の交流を図ることを目的として行われています。今回は、今年の冬が近年まれにみる大雪であったため、花や花壇の手入れも大変だったようですが、幸い、期間中は天候にも恵まれ、開放いただいた23カ所の庭や花壇には、多くの方が鑑賞に訪問。花づくり・盆栽づくりの楽しさや難しさなどを語り合う光景が随所で見られ、人々の交流も盛んに行われていました。



▲手入れされた庭で、来訪者と話がはずむ庭の所有者

出石

小坂小・稲作体験学習

みんなでお田植え 泥なんてへっちゃら

6月1日、出石町鳥居のほ場で、小坂小学校の5・6年生30人が田植えを行いました。これは、農作業体験を通して自然の恩恵、先人の苦労や知恵を学ぼうと、県のいきいき農作業体験の一環として取組まれたものです。子どもたちは、裸足になって田んぼに入り、地元農家の方の指導のもと、もち米の苗を一本一本心を込めて植えました。同校5年生の吉谷貴大くんは「初めての体験で難しかったけど、とてもおもしろかったです」と水路で汚れた足を気持ちよさそうに洗い落としながら話していました。なお、11月には同校で収穫祭が行われ、収穫したもち米で餅つきが行われます。



▲一列になってピンと張られた糸にそって田植えをする子どもたち。田植えの後はアイガモをみんなで放した

但東

時の記念日

子午線に次々と

時計草の花

6月10日は時の記念日です。この日が近くと、但東町内数件の家庭で時計草が咲き始めます。

これは、昭和61年の子午線制定100周年を記念して、同町内の希望家庭に時計草が配られたもので、花の形が時計と似ていることから、この名前が付けられています。

子午線の通る同町栗尾地区の西垣勉さん宅の軒下にも、暖かくなる午後には膨らんだつぼみが一気に花を咲かせ、多い日には10〜20もの花をつけます。

花は1日で枯れてしましますが、9月ごろまで次々と咲き、目を楽しませてくれます。



▲暖かくなる午後一気に花を咲かせる時計草。咲いた花は時計に似ている